

# 古典文法トレーニング 長文課題 品詞分解と現代語訳

## 大問三（出典：『伊勢物語』）

◎品詞分解（非活用語は初出のみで、名詞は基本的に非表示。同色の助詞は同内容であることを示す。）

昔、男ありけり。人ラ変・用過去・終の格助（係修）女むすめを盗みてマ四・用格助、武蔵野へ率格助ワ上一用てゆくほどにカ四・体名格助、盗人なりければ断定・用過去・已接助（順確）、国の守格助マ下二未変身・用に搦められにけり。女をば連語くさむらへ全叢名格助カ四・用の中に置きてガ下二用完了・用過去・終、逃げにけり。道来る人、この野係助は盗人ラ変・体（懸）なり格助とて、火つけカ下二未むとす。女侘びて意志・終格助サ変・終、

武蔵野副カ四・用終助枕詞（つま）は今日副カ四・用終助枕詞（つま）はな焼きそ若草係助ラ四・已存続・終の夫も籠れりラ四・已存続・終我も籠れり

と詠みけるマ四・用過去・体を聞きてカ四・用、女をばととりて連語ラ四・用、共に率副ワ上一用て往にけりラ四・用過去・終。

◎現代語訳（↓『ステップアップノート30 古典文法トレーニング』参照）